

科目名	社会科学講義基礎(政治)				
科目名(英)					
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/60時間	担当者	豊田 亮
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員一次試験の頻出単元である「社会科学(政治)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。政治分野の要点を踏まえ、問題演習を重ねることで「社会科学(政治経済)」の受験攻略のポイントの修得につなげる。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	目標				
	○				
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) 一問一答暗記テキスト2023年度『原点』				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	統治機構 三権分立			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	2	統治機構 国会①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	3	統治機構 国会②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	4	統治機構 国会③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	5	統治機構 内閣			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	6	統治機構 裁判所①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	7	統治機構 裁判所②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	8	統治機構 裁判所③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	9	日本国憲法の基本的性格①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	10	日本国憲法の基本的性格②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	11	地方自治①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	12	地方自治②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	13	選挙制度①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	14	選挙制度②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	15	前期の復習			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	16	選挙制度③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	17	民主主義の発展			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	18	各国の政治制度①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	19	各国の政治制度②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	20	基本的人権の尊重①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	21	基本的人権の尊重②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	22	基本的人権の尊重③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	23	国際政治と日本①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	24	国際政治と日本②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	25	国際政治と日本③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。

	26	国際政治と日本④	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。				
	27	国際政治と日本⑤	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。				
	28	国際政治と日本⑥	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。				
	29	国際政治と日本⑦	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。				
	30	後期の復習	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。				
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎				40%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	社会科学講義基礎(経済・社会)				
科目名(英)					
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/60時間	担当者	横山 真太郎
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員一次試験の頻出単元である「社会科学(経済・社会)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。経済・社会各分野の要点を踏まえ、問題演習を重ねることで「社会科学(政治経済)」の受験攻略のポイントの修得につなげる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	目標				
	○				経済分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明できる。
	○				社会分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明できる。
	○	○			試験で問われる経済・社会分野の知識を用い、試験問題で正答を選択できる。
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) 一問一答暗記テキスト2023年度『原点』				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
		◆経済分野			
	1	経済のしくみ 市場と価格①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	2	経済のしくみ 市場と価格②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	3	経済のしくみ 市場と価格③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	4	企業のしくみ			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	5	景気と物価①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	6	景気と物価②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	7	金融と日本銀行の金融政策①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	8	金融と日本銀行の金融政策②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	9	金融と日本銀行の金融政策③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	10	財政政策①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	11	財政政策②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	12	財政政策③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	13	為替レートと貿易①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	14	為替レートと貿易②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	15	前期の復習			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	16	国際経済との関わり①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	17	国際経済との関わり②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	18	国際経済との関わり③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	19	国民所得と経済成長(様々な経済指標)①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	20	国民所得と経済成長(様々な経済指標)②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	21	現代日本経済の構造と課題①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	22	現代日本経済の構造と課題②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	23	現代日本経済の構造と課題③			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	24	経済学史			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。

	◆社会分野						
25	社会保障・情報化①	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。					
26	社会保障・情報化②	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。					
27	労働事情	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。					
28	環境問題・農業問題①	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。					
29	環境問題・農業問題②	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。					
30	後期の復習	授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。					
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎				40%
履修上の注意	適宜、プリントを配布する場合があるため、各自で保管をすること。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義基礎(日本史)				
科目名(英)					
単位数	8単位 (3単位に相当)	時間数	45時間/120時間	担当者	児玉 博基
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(日本史)」での得点率を上げることがを学習目標に授業を行う。日本政治史の流れを中心に要点を踏まえたうえで、問題演習を重ねることで「人文科学(日本史)」の得点率向上につなげる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
		○			
目標					
日本史の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。					
講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。					
歴史を通して現代社会における課題や現状を自己の見解で述べるることができる。					
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	古代1「縄文、弥生時代の特色」、「ヤマト政権の誕生」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	2	古代2「律令国家の形成へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	3	古代3「律令国家の完成」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	4	古代4「奈良時代」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	5	古代5「律令国家の衰退へー律令再建から摂関政治ー」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	6	古代5「律令国家の衰退へー摂関政治から院政へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	7	古代6「院政と平氏政権の誕生ー院政と平氏政権ー」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	8	文化史1(飛鳥、白鳳、天平、国風文化など)			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	9	中世1「源平合戦」、「鎌倉幕府の成立」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	10	中世2「執権政治」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	11	中世2「蒙古襲来とその影響、鎌倉幕府滅亡へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	12	中世3「南北朝時代」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	13	中世3「室町幕府の確立」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	14	中世4「下剋上の世の中へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	15	中世4「中世の社会経済」 文化史1(鎌倉文化、北山・東山文化)			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	16	前期の復習			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	17	近世1「ヨーロッパ人の到来」、「織田信長の統一事業」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	18	近世1「豊臣秀吉の統一事業」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	19	近世2「江戸時代・幕藩体制」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	20	近世3「江戸初期の外交」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	21	近世3「文治政治への転換」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	22	近世4「幕政改革ー享保の改革、田沼の政治ー」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	23	近世4・5「幕政改革ー寛政の改革、諸外国の接近ー」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	24	近世5「幕政改革ー天保の改革ー」、「近世の社会経済」			テキストの該当ページを読んでおくこと。
	25	近世6「開国の流れ」			テキストの該当ページを読んでおくこと。

	26	近世6「不平等条約締結とその影響」 近世7「幕末の政局」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	27	近代1「明治維新」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	28	文化史3(桃山文化)、文化史4(江戸の文化)	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	29	近世史の小括	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	30	近代1「西郷隆盛中心の留守政府」 近代2「大久保利通の政治」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	31	近代2「大隈と伊藤の政治」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	32	近代3「松方財政と民権運動の激化」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	33	近代3「内閣の変遷」、「条約改正」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	34	近代4「内閣の変遷」、「日露戦争」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	35	文化史5(明治の文化)	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	36	明治の小括	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	37	近代5「護憲運動」、「第一次世界大戦」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	38	近代5「協調外交と護憲運動2」、近代6「恐慌対策」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	39	文化史6(大衆文化)	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	40	近代6「政党政治の終焉」、近代7「日中戦争」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	41	近代7「日米開戦」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	42	現代1「戦後処理と復興」、「国際社会への復帰」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	43	現代2「高度経済成長part 1」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	44	現代3「高度経済成長part 2」	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
	45	現代史の小括	テキストの該当ページを読んでおくこと。				
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎				40%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義基礎(世界史)				
科目名(英)					
単位数	8単位 (3単位に相当)	時間数	45時間/120時間	担当者	児玉 博基
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(世界史)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。政治史の流れを中心に要点を踏まえ、問題演習を重ねることで「人文科学(世界史)」の得点率向上につなげる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
		○			
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	「古代ギリシア」(P.46-47) ※カッコ内はテキスト該当ページ。以下同様。			『絶対合格シリーズ人文科学テキスト編』P.46-47を読んでおくこと。
	2	「古代ローマ」(P.48-49)			同、P.48-49を読んでおくこと。また補助教材の授業動画を視聴すること。
	3	「中世のローマ教皇」(P.50-55)			同、P.50-55を読んでおくこと。また補助教材の授業動画を視聴すること。
	4	「ルネサンス」(P.56)			同、P.56を読んでおくこと
	5	「大航海時代」(P.56-57)			同、P.56-57を読んでおくこと
	6	「宗教改革ルター、カルヴァン、国教会」(P.58-59)			同、P.58-59を読んでおくこと
	7	「宗教戦争オランダ独立、ユグノー、三十年」(P.58-59)			同、P.58-59を読んでおくこと
	8	「絶対王政スペイン、オランダ、イングランド」(P.57-59)			同、P.57-59を読んでおくこと
	9	「絶対王政フランス、普墺露」(P.60-61)			同、P.60-61を読んでおくこと
	10	「ピューリタン革命、名誉革命」(P.62-63)			同、P.62-63を読んでおくこと
	11	「アメリカ独立」(P.64-65)			同、P.64-65を読んでおくこと
	12	「フランス革命」(P.66-67)			同、P.64-66を読んでおくこと
	13	「ナポレオン戦争、ウィーン会議」(P.68)			同、P.68を読んでおくこと
	14	「フランス七月革命、二月革命」(P.68-69)			同、P.68-69を読んでおくこと
	15	「産業革命」(P.70)			同、P.70を読んでおくこと
	16	「ヴィクトリア朝、イタリアとドイツの統一」(P.72-73)			同、P.72-73を読んでおくこと
	17	「ロシアの南下、アメリカ南北戦争」(P.74-75)			同、P.74-75を読んでおくこと
	18	「アフリカ分割、アジア分割」(P.76)			同、P.76を読んでおくこと
	19	「サラエボ事件、WW1」(P.76-77)			同、P.76-77を読んでおくこと
	20	「ロシア革命、パリ講和会議、ワシントン会議」(P.78-79)			同、P.78-79を読んでおくこと
	21	「インドの反英闘争」(P.80)			同、P.80を読んでおくこと
	22	「1920年代の欧米諸国と世界恐慌」(P.80-81)			同、P.80-81を読んでおくこと
	23	「ナチスの台頭、スペイン爆撃」(P.82)			同、P.82を読んでおくこと
	24	「WW2、大西洋会談、ヤルタ、ポツダム」(P.82-83)			同、P.82-83を読んでおくこと
	25	「戦後処理と冷戦の始まり」(P.84-85)			同、P.84-85を読んでおくこと

	26	「反ソ暴動、キューバ危機、ヴェトナム戦争」(P.86)	同、P.86を読んでおくこと				
	27	「1989年東欧革命、ベレストロイカ、マルタ会談、ソ連崩壊」(P.86-87)	同、P.86-87を読んでおくこと				
	28	「殷、周、秦」(P.88-89)	同、P.88-89を読んでおくこと				
	29	「前漢、新、後漢」(P.90-91)	同、P.90-91を読んでおくこと				
	30	「三国時代、南北朝、隋、唐」(P.92-93)	同、P.92-93を読んでおくこと				
	31	「唐、宋」(P.94-96)	同、P.94-96を読んでおくこと				
	32	「モンゴル帝国、元」(P.97-98)	同、P.97-98を読んでおくこと				
	33	「明、清」(P.98-100)	同、P.98-100を読んでおくこと				
	34	「アヘン戦争、太平天国」(P.101-103)	同、P.101-103を読んでおくこと				
	35	「日清戦争、戊戌の政変」(P.104-105)	同、P.104-105を読んでおくこと				
	36	「義和団、辛亥革命」(P.106-107)	同、P.106-107を読んでおくこと				
	37	「国共合作、日中戦争、中華人民共和国」(P.108-109)	同、P.108-109を読んでおくこと				
	38	「大躍進、人民公社、文化大革命」(P.110-111)	同、P.110-111を読んでおくこと				
	39	「天安門事件、中国現代史」(P.110-111)	同、P.110-111を読んでおくこと				
	40	ムハンマド時代、正統カリフ時代、ウマイヤ朝	補助教材となる授業動画を視聴すること				
	41	アッバース朝、分裂後のセルジューク、アイユーブ	補助教材となる授業動画を視聴すること				
	42	ティムール帝国、オスマン帝国	補助教材となる授業動画を視聴すること				
	43	オスマン帝国の衰退、クリミア戦争、ミドハト憲法、露土戦争	補助教材となる授業動画を視聴すること				
	44	トルコ共和国、イラン革命	補助教材となる授業動画を視聴すること				
	45	ムガル帝国	補助教材となる授業動画を視聴すること				
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 『授業外学修指示』における授業動画でしか扱っていない事項は、成績評価の基礎とはしない。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎				40%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義基礎(地理)				
科目名(英)					
単位数	8単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/120時間	担当者	横山 真太郎
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で、頻出単元になる「人文科学(地理)」での得点率を上げることがを目標に講義を行う。世界各地の地形・気候の特徴を中心に、要点を踏まえたうえで問題演習を重ねながら公務員試験(地理)の得点率向上を目指す。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	目標				
	○				
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『新詳高等地図』(帝国書院) ・一問一答暗記テキスト2023年度『原点』 ・授業時に配布されるプリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	【はじめに】地理の基礎知識			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	2	気候(1)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	3	気候(2)・土壌①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	4	気候(2)・土壌②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	5	風・日本の気候			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	6	地形(1)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	7	地形(2)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	8	地形(3)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	9	地図			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	10	世界の農牧業(1)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	11	世界の農牧業(2)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	12	生産量・輸出量・発電			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	13	東アジア(1)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	14	東アジア(2)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	15	東南アジア(1)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	16	東南アジア(2)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	17	南アジア			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	18	西アジア			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	19	アフリカ			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	20	ヨーロッパ(1)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	21	ヨーロッパ(2)			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	22	ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア、北アメリカ			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	23	北アメリカ①			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	24	北アメリカ②			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。
	25	南アメリカ			授業内容をテキストで復習をすること。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習すること。

科目名	自然科学講義基礎(化学)						
科目名(英)							
単位数	5単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/75時間	担当者	小島 俊宣	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	化学分野の知識を習得し、幅広い教養を身に付ける。また、化学という科学の仕組みを理解することで、視野と発想力の基礎を自ら築く。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自然科学分野の要点を理解し、初級程度公務員試験における標準レベルの問題について正解に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	物質の構造①：原子について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	2	物質の構造②：化学結合・状態変化について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	3	モル・化学反応式①：モルについて				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	4	モル・化学反応式②：化学反応式について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	5	酸と塩基①：酸と塩基について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	6	酸と塩基②：中和について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	7	酸化・還元①：酸化・還元について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	8	復習①：(単元1～3)中間考査対策				【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く	
	9	酸化・還元②：イオン化傾向・電池について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	10	周期表①：周期律について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	11	周期表②：同族元素について				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	12	気体				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	13	気体の性質・溶解度				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	14	金属の性質				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	15	復習②(単元4～8) 期末考査対策				【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義基礎(生物・地学)				
科目名(英)					
単位数	5単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/75時間	担当者	小島 俊宣
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	生物・地学分野の知識を習得し、幅広い教養を身に付ける。また、生物・地学という科学の仕組みを理解することで、視野と発想力の基礎を自ら築く。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	○			
目標 自然科学分野の要点を理解し、初級程度公務員試験における標準レベルの問題について正解に達することができる。					
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	生体のつくり			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	2	細胞分裂・生殖			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	3	遺伝			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	4	酵素			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	5	異化(呼吸・発酵)			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	6	同化(光合成・窒素同化)①：光合成について			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	7	同化(光合成・窒素同化)②：窒素同化について			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	8	復習①：(生物単元1～6)前期中間考査対策			【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く
	9	刺激と反応①：神経系について			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	10	刺激と反応②：感覚器について			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	11	恒常性と調節①：血液・排出について			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	12	恒常性と調節②：ホルモン・免疫について			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	13	植物の反応			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	14	動物の行動			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	15	復習②：(生物単元7～9)前期期末考査対策			【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く
	16	生態系			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	17	進化			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	18	地球の内部			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	19	地震			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	20	復習③：(生物単元10、地学単元1～2)後期中間考査対策			【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く
	21	岩石・火山①：火山			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	22	岩石・火山②：岩石			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	23	地球の歴史			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	24	大気・気候			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く
	25	天気			【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く

	26	地球の運動	【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く				
	27	太陽・月	【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く				
	28	太陽系の天体	【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く				
	29	恒星と宇宙	【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く				
	30	復習：後期期末考查対策	【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く				
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	文章理解講義基礎(和文)				
科目名(英)					
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/60時間	担当者	佐藤 美聡
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	文章読解を通して幅広い教養を身につけ、公務員試験の1次試験(筆記試験)での出題パターンを理解する。 また、国語分野の知識や作文の演習を通じて、豊かな表現力を養う。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
				○	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【文章理解】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	文章理解(和文)公務員試験概要			
	2	「内容一致」基礎講義・問題演習			
	3	「要旨」基礎講義・問題演習			
	4	問題演習(内容一致・要旨)			
	5	問題演習(国語)			
	6	「文章整序」基礎講義・問題演習			
	7	「空欄補充」基礎講義・問題演習			
	8	問題演習(文章整序・空欄補充)			
	9	作文対策①			
	10	問題演習(国語)			
	11	問題演習(総合演習)			
	12	問題演習(総合演習)			
	13	要約演習①			
	14	要約演習②			
	15	問題演習(国語)			
	16	問題演習(総合演習)			
	17	問題演習(総合演習)			
	18	「古文」基礎講義・問題演習			
	19	「古文」基礎講義・問題演習			
	20	作文対策②			
	21	問題演習(国語)			
	22	模擬試験演習			
	23	模擬試験演習			
	24	問題演習(和文総合演習) 問題演習(国語 文法)			
	25	問題演習(和文総合演習) 問題演習(国語 文法)			

科目名	文章理解講義基礎(英文)				
科目名(英)					
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/60時間	担当者	中尾 亜希子
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	初級程度公務員採用試験(一次試験)の、文章理解(英文)および英語において、解答するために必要な基礎英文法を身に付ける。また、英熟語等の小テストを通し、文章読解力を養う。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
				○	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【文章理解】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『高卒程度公務員試験対策 高校 総復習BOOK 英文法:やさしくはじめる』(受験研究社)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	基本の確認			
	2	第1章 文構造・時制			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	3	第1章 文構造・時制			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	4	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	5	第2章 進行形・完了			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	6	第2章 進行形・完了			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	7	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	8	第3章 助動詞・受け身			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	9	第3章 助動詞・受け身			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	10	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	11	第4章 不定詞・動名詞			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	12	第4章 不定詞・動名詞			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	13	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	14	第5章 比較			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	15	第5章 比較			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	16	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	17	第6章 関係詞			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	18	第6章 関係詞			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	19	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	20	第7章 分詞			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	21	第7章 分詞			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	22	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	23	第8章 仮定法			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	24	第8章 仮定法			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。
	25	問題演習			事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。

	26	第9章 接続詞・強調	事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。				
	27	第9章 接続詞・強調	事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。				
	28	問題演習	事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。				
	29	長文読解演習	事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。				
	30	長文読解演習	事前に指定された範囲の単語熟語を暗記してくること。授業内で試験を行います。				
評価方法	定期試験を実施する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	判断推理講義基礎(判断論理A)				
科目名(英)					
単位数	7単位 (4単位に相当)	時間数	60時間/105時間	担当者	江藤 弘明
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
				○	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【判断推理】ドリル編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	試合・勝敗① リーグ戦			
	2	試合・勝敗② 上位必勝・3チームの1敗			
	3	試合・勝敗③ トーナメント戦			
	4	試合・勝敗④ 問題演習			
	5	うそつき① GW法			
	6	うそつき② 矛盾・半分半分			
	7	うそつき③ 犯人探し			
	8	うそつき④ 問題演習			
	9	演習① (試合・勝敗、うそつき)			
	10	演習② (試合・勝敗、うそつき)			
	11	暗号① 仮名			
	12	暗号② 仮名、アルファベット			
	13	暗号③ アルファベット			
	14	暗号④ いろいろな暗号			
	15	暗号⑤ 問題演習			
	16	位置・方位① マンション・住宅地			
	17	位置・方位② テーブル・円卓			
	18	位置・方位③ 写真撮影			
	19	位置・方位④ 方位			
	20	位置・方位⑤ 問題演習			
	21	演習③ (暗号、位置・方位)			
	22	演習④ (暗号、位置・方位)			
	23	手順① 分銅			
	24	手順② ニセ金			
	25	手順③ 帽子、油わけ算			
	26	手順④ ハノイの塔、定員あり移動			
	27	手順⑤ 必勝法、作業工程			
	28	手順⑥ 並び替え、対戦推移			

授業計画	29	手順⑦ 問題演習	
	30	論理① 命題と真偽	
	31	論理② 命題とベン図	
	32	論理③ 命題とベン図	
	33	論理④ 問題演習	
	34	演習⑤ (手順、論理)	
	35	演習⑥ (手順、論理)	
	36	集合・人数① ベン図	
	37	集合・人数② キャロル表	
	38	集合・人数③ 最大・最小	
	39	数量推理① 鳩ノ巣原理、○×問題	
	40	数量推理② 方程式	
	41	数量推理③ 数づくり	
	42	数量推理④ 表	
	43	数量推理⑤ 魔方陣	
	44	数量推理⑥ 問題演習	
	45	演習⑦ (集合・人数、数量推理)	
	46	演習⑧ (集合・人数、数量推理)	
	47	暦・カレンダー① 暦のルール	
	48	暦・カレンダー② 過去・未来	
	49	暦・カレンダー③ 問題演習	
	50	総合演習① 総復習演習 論理	
	51	総合演習② 総復習演習 集合・人数	
	52	総合演習③ 総復習演習 うそつき	
	53	総合演習④ 総復習演習 対応関係	
	54	総合演習⑤ 総復習演習 順序関係	
	55	総合演習⑥ 総復習演習 試合・勝敗	
	56	総合演習⑦ 総復習演習 位置・方位	
	57	総合演習⑧ 総復習演習 暗号	
	58	総合演習⑨ 総復習演習 手順	
	59	総合演習⑩ 総復習演習 暦・カレンダー	
	60	総合演習⑪ 総復習演習 数量推理	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。		
		言語情報	知的技能
	定期試験	◎	◎
	演習試験	◎	◎
履修上の注意			
	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。		

科目名	判断推理講義基礎(判断論理B)						
科目名(英)							
単位数	7単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/105時間		担当者	甲斐 友康
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					例題解説を通し、各単元の基本的解法を習得する。	
		○				論理的思考を身に付け、図や表を用いた実践的な解法を習得し、公務員試験問題を解答できる。	
				○		演習試験への取組みにより、受験に向き合う姿勢を培い、その意欲を高める。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【判断推理】ドリル編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	対応関係(1):2つの事柄					
	2	対応関係(1):3つの事柄					
	3	対応関係(1):場合分け・間接的表現					
	4	対応関係(2)					
	5	順序関係① 数直線と平均					
	6	順序関係② 数直線と平均					
	7	演習 対応関係、順序関係(数直線と平均)					
	8	順序関係③ ブロック化					
	9	順序関係④ ブロック化					
	10	順序関係⑤ 順序の変動					
	11	順序関係⑥ 折り返し					
	12	順序関係⑦ 樹形図、わっか					
	13	順序関係⑧ 時刻と時計のずれ					
	14	順序関係⑨ 問題演習(順序関係)					
	15	総復習演習					
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	判断推理講義基礎(判断図形)				
科目名(英)					
単位数	7単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/105時間	担当者	吉武 伸生
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	判断推理の図形分野において、公務員採用試験に出題される単元を、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し各単元ごとに学習する。また、過去に出題された問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで、本試験の出題傾向を学ぶ。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
				○	
目標 例題解説を通して各単元の基本的解法を身につけ、定期試験や演習試験で合格点を取ることができる。 実戦的な解法を身に付け、公務員試験問題を解答できる。 演習試験への取組みにより、受験に向き合う姿勢を培い、その意欲を高める。					
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	折り紙			
	2	道順・位相①			
	3	道順・位相②			
	4	展開図(1)①(代表的な図形)			
	5	展開図(1)②(辺や面の位置関係)			
	6	展開図(1)③(組立可能、展開図の切断)			
	7	復習1			
	8	展開図(2)サイコロ①			
	9	展開図(2)サイコロ②			
	10	平面図形①			
	11	平面図形②			
	12	平面図形③			
	13	軌跡①(直線上を転がす)			
	14	軌跡②(直線上を転がす)			
	15	復習2			
	16	前期総復習・演習			
	17	軌跡②(円周上を転がす)			
	18	軌跡③(その他)			
	19	空間図家の分割①(着色、串刺し)			
	20	復習3			
	21	空間図形の分割②(切断、接し面、組立)			
	22	多面体・切断・回転①(正多面体)			
	23	多面体・切断・回転②(切断面)			
	24	多面体・切断・回転③(回転体・その他)			
	25	空間図形の投影①(投影図)			
	26	空間図形の投影②(積み木)			

科目名	数的推理講義基礎(数的論理)				
科目名(英)					
単位数	6単位 (4単位に相当)	時間数	60時間/90時間	担当者	船木 竜太
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	数的推理の論理分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	目標				
	○				
		○			
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) 『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】ドリル編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) オリジナルプリント				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	数的論理 基礎講義			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。
	2	比と割合① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	3	比と割合② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	4	濃度① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	5	濃度② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	6	年齢① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	7	年齢② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	8	売買損益① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	9	売買損益② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	10	平均① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	11	平均② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	12	速さ 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	13	旅人算① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	14	旅人算② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	15	総合演習 1-14			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。
	16	通過算① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	17	通過算② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	18	流水算① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	19	流水算② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	20	時計算① 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	21	時計算② 基礎講義＋問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	22	その他速さの問題 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	23	その他速さの問題 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	24	仕事算 基礎講義①			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	25	仕事算 基礎講義②			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	26	仕事算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。
	27	ニュートン算 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。

授業計画	28	ニュートン算 問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	29	一次方程式	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	30	総合演習 16-29	配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。				
	31	連立方程式① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	32	連立方程式② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	33	不定方程式① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	34	不定方程式② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	35	不等式① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	36	不等式② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	37	記数法① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	38	記数法② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	39	約数・倍数① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	40	約数・倍数② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	41	整数① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	42	整数② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	43	魔法陣 講義、演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	44	覆面算・虫食い算 講義、演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	45	総合演習 31-44	配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。				
	46	数列・規則① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	47	数列・規則② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	48	その他の数量問題 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	49	場合の数(数え上げと順列)① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	50	場合の数(数え上げと順列)② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	51	場合の数(順列と組合せ)③ 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	52	場合の数(順列と組合せ)④ 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	53	場合の数⑤ 問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	54	確率(順列と組合せ)① 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	55	確率(順列と組合せ)② 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	56	確率(排反・独立)③ 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	57	確率(排反・独立)④ 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	58	確率(反復試行・条件付確率・期待値)⑤ 基礎講義＋問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
	59	確率⑥ 問題演習	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。ドリル編の問題を解く。				
60	総合演習46-58	配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。					
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	数的推理講義基礎(数的図形)				
科目名(英)					
単位数	6単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/90時間	担当者	甲斐 友康
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	数的推理の図形分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して科目ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
				○	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	三角形と多角形①(直線と角、内角・外角)			
	2	三角形と多角形②(多角形、角の二等分線の定理)			
	3	三角形と多角形③(平行線と線分の比、合同・相似)			
	4	三角形と多角形④(直角三角形、三平方の定理)			
	5	三角形と多角形⑤(チェバの定理・メネラウスの定理)			
	6	三角形と多角形⑥(三角形の重心、その他)			
	7	演習 三角形と多角形			
	8	円①(円と直線)			
	9	円②(円周角と中心角)			
	10	円③(円と接線、接弦定理)			
	11	円④(方べきの定理、円周と弧)			
	12	面積①(三角形の面積公式、面積の比)			
	13	面積②(相似な三角形の面積比)			
	14	面積③(三角形の種々の問題)			
	15	演習 (三角形と多角形、円、三角形の面積)			
	16	面積④(円と扇形の面積)			
	17	面積⑤(円と扇形の種々の問題)			
	18	面積⑥(さまざまな図形の面積)			
	19	面積⑦(その他)			
	20	演習 面積総合			
	21	演習 平面図形総合			
	22	立体①(さまざまな図形の体積・表面積)			
	23	立体②(相似な図形の体積比)			
	24	立体③(展開図と最短距離)			
	25	立体④(立体の切断1)			
	26	立体⑤(立体の切断2)			

	27	立体⑥(回転体)					
	28	立体⑦(その他)					
	29	演習 立体総合					
	30	演習 数的図形総合					
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	適性一般知識演習基礎									
科目名(英)										
単位数	10単位		時間数		150時間		担当者		船木竜太/横山真太郎/江藤弘明 小島俊宣/甲斐友康/豊田亮/佐藤美聡	
実施年度	2023年度		実施時期		通年		担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年									
授業概要	事務適性試験の反復練習を行うことで、事務処理能力を養う。 また、一般教養演習(授業の復習テスト)を通し、授業の理解度を確認し基礎的な学力を身に付ける。									
授業形態	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。				
	○	○				演習試験で理解度を確認し、知識の定着を図ることができる。				
テキスト・教材 参考図書	・『適性試験ステップ25[基礎]編』および『実務教育出版 適性試験ステップ25[実戦]編』(実務教育出版) ・実務教育出版 適性試験No.1～No.100									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	(1～10)事務適性試験、一般教養演習								
	2	(11～20)事務適性試験、一般教養演習								
	3	(21～30)事務適性試験、一般教養演習								
	4	(31～40)事務適性試験、一般教養演習								
	5	(41～50)事務適性試験、一般教養演習								
	6	(51～60)事務適性試験、一般教養演習								
	7	(61～70)事務適性試験、一般教養演習								
	8	(71～80)事務適性試験、一般教養演習								
	9	(81～90)事務適性試験、一般教養演習								
	10	(91～100)事務適性試験、一般教養演習								
	11	(101～110)事務適性試験、一般教養演習								
	12	(111～120)事務適性試験、一般教養演習								
	13	(121～130)事務適性試験、一般教養演習								
	14	(131～140)事務適性試験、一般教養演習								
	15	(141～150)事務適性試験、一般教養演習								
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を100点満点に換算し、総合評価をつける。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	適性演習試験	◎		◎				60%		
	演習試験	◎		◎				40%		
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。									

科目名	公務員リテラシー基礎Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	7単位	時間数	115時間	担当者	横山真太郎/甲斐友康/江藤弘明/ 船木竜太/豊田亮/小島俊宣/佐藤美聡		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員になるにあたって必要な知識と教養を身につけ、志望する公務員について、正しく理解する。 また、面接対策の機会を通して豊かな表現力を身につける。						
授業形態	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		公務員になるにあたって必要な知識・経験を積み、自身の考えを述べるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	実務教育出版 公務員模擬試験基礎編第1回～第4回						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1.模擬試験演習：24時間					
		(公務員試験過去問演習：16時間 実務教育出版模試：8時間)					
		2.職種紹介ガイダンス：8時間					
		(国家一般職、税務、県庁、市役所、消防、警察、 刑務官、海保入警皇宮)					
		3.その他ガイダンス：8時間					
		(勉強方法、適性、作文、個別面接、集団面接、 集団討論、受験、SPI)					
		4.作文演習：8時間					
		5.性格検査：3時間					
		(サイダス：1時間 YG性格検査：1時間 クレペリン：1時間)					
		6.総合演習：20時間					
		(知識演習、知能演習)					
		7.実戦演習：30時間					
		(集団討論、集団面接、SPI対策、面接カード、体力測定等)					
		8.その他：14時間					
		(外部講演、卒業生座談会、合格者座談会、 グループワーク等)					
評価方法	レポート提出状況によって評価をつける。 評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たさない場合にはD評価(不合格)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することが ありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート	○	○		◎		100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	GCB I（グローバル・シティズン・ベーシック I）						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	船木竜太/佐藤美聡/甲斐友康/江藤弘明/ 豊田亮//小島俊宜/横山真太郎
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	マナーと協力(協働)について学び、他者依存を脱却し主体的に周囲と協力して行動できるようになる。また、国内外の社会的事例について触れ幅広い視野を持てるように学習する。						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		感謝心を持つことにより他者依存から脱却する考えを持ち、それを述べられるようになる。	
	○	○		○		責任感と他者への思いやりをカタチにして表現(行動)できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	GCB I テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう①					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	2	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう②					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	3	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活①					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	4	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活②					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	5	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性①					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	6	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性②					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	7	第4講座 マナーの本質 I ①					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	8	第4講座 マナーの本質 I ②					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	9	第5講座 マナーの本質 II ①					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	10	第5講座 マナーの本質 II ②					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	11	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常①					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	12	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常②					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	13	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標③					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	14	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標④					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
	15	第8講座 グローバル・シティズンとしての「志」に向けて					GCB I テキスト、パワーポイントや補助プリント、塾内共有動画を使用。
評価方法	レポート試験の提出状況及び内容により評価をつける。 評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たさない場合にはD評価(不合格)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート試験	○	○		◎		100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	ビジネス実務基礎				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮原裕花/入江陽子
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	パソコン操作とペン字を学習する。パソコン操作については、操作基本となるワードとエクセルの基本操作を身に付ける。ペン字については、基本的な文字の書き方から様々な対象に応じた書式を学習し、習得する。				
授業形態	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	『30時間でマスター Word&Excel 2019』(実教出版、2019年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	パソコン1:メールの設定			
	2	ペン字1:読みやすい文字を書くコツ① (文字を書くための基本)			
	3	パソコン2:ワード(1)入力の基礎・情報倫理(1)			
	4	ペン字2:読みやすい文字を書くコツ② (自分の名前を確認)			
	5	パソコン3:ワード(2)社内文章①・情報倫理(2)			
	6	ペン字3:読みやすい文字を書くコツ③ (文字の基本を学ぶ①漢字)			
	7	パソコン4:ワード(3)社内文章②・情報倫理(3)			
	8	ペン字4:読みやすい文字を書くコツ④ (文字の基本を学ぶ②漢字)			
	9	パソコン5:ワード(4)社内文章③・情報倫理(4)			
	10	ペン字5:読みやすい文字を書くコツ⑤ (文字の基本を学ぶ③片仮名)			
	11	パソコン6:ワード(5)社内文章④・情報倫理5			
	12	ペン字6:読みやすい文字を書くコツ⑥ (文字の基本を学ぶ④平仮名)			
	13	パソコン7:ワード(6)社内文章⑤			
	14	ペン字7:読みやすい文字を書くコツ⑦ (文字の基本を学ぶ⑤横書きの書式)			
	15	パソコン8:ワード(7)社内文章⑥			
	16	ペン字8:読みやすい文字を書くコツ⑧ (文字の基本を学ぶ⑥縦書きの書式)			
	17	パソコン9:ワード(8)まとめ			
	18	ペン字9:実用書を学ぶ① (はがきの表書き)			
	19	パソコン10:エクセル(1)表作成)			
	20	ペン字10:実用書を学ぶ② (長形封筒の書き方～レイアウトを学ぶ)			
	21	パソコン11:エクセル(2)表作成②			
	22	ペン字11:実用書を学ぶ③ (角形封筒の書き方～レイアウトを学ぶ)			
	23	パソコン12:エクセル(3)グラフ作成			
	24	ペン字12:面接カードの書き方① (面接カードの名前の練習)			
	25	パソコン13:エクセル(4)関数①			

	26	ペン字13:面接カードの書き方② (横書きの書式とバランス)					
	27	パソコン14:エクセル(5)関数②					
	28	ペン字14:面接カードの書き方③ (レイアウトの中での書き取り練習)					
	29	パソコン15:エクセル(6)まとめ					
	30	ペン字15:面接カードの書き方④ (配字と文字のバランス～書き取り仕上げ)					
評価方法	演習課題の状況により評価をつける。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たさない場合にはD評価(不合格)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート課題	◎	○				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						